



613-000622 Rev.A 061114

IEEE802.11a/b/g 対応無線 LAN PC カード

CentreCOM® **WR540CB V2**

# リファレンスマニュアル



CentreCOM® **WR540CB V2**

---

# リファレンスマニュアル

# 安全のために



必ずお守りください



## 警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

### 分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

### 雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

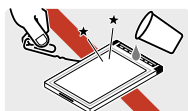
感電の原因となります。



雷のときは  
さわらない

### 異物はいれない 水は禁物

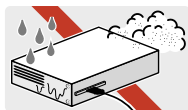
火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)



異物厳禁

### 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電のおそれがあります。



設置場所  
注意



## 注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり、**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

### 高温注意

本製品の使用直後は高温になっています。不用意にさわると、火傷のおそれがあります。



高温注意

# ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度90%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュースを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



## 静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



## 取り付け・取り外しのときの注意

コンピューターのPCカードスロットに本製品を取り付ける作業は、必ず本マニュアル及び、ご使用のコンピューターのマニュアルを参照の上正しく行ってください。



## 長期保管時は袋に入れて

本製品を長期にわたって保管する場合は、必ず添付の袋（静電防止）に入れてください。



## 取り扱いにはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



## お手入れについて

### 清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



### 機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤  
使用



強く絞る

### お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん  
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）



シンナー  
類不可

# はじめに

このたびは、CentreCOM WR540CB V2をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。  
本製品は、IEEE802.11a/b/g 規格に対応した無線 LAN PC カードです。

WPA (WPA-EAP/WPA-PSK)、WPA2 (WPA2-EAP/WPA2-PSK) にも対応し、複数の認証方式や暗号方式をサポートするなど、高度なセキュリティーもサポートしています。

また本製品は、国際標準の IEEE 802.11a (W52/W53) および従来の IEEE 802.11a (J52) の両方に対応しています。従来の IEEE 802.11a (J52) では、34、38、42、46 の 4 チャンネル、国際標準の IEEE 802.11a (W52/W53) では、36、40、44、48、52、56、60、64 の 8 チャンネルが使用可能です。

SSID やセキュリティー設定が合っていれば、IEEE 802.11a の J52、W52、W53、あるいは IEEE 802.11b、g いずれのチャンネルで動作しているアクセスポイントとも設定を変えずに接続することができます。

ただし、従来の IEEE 802.11a (J52) 対応の製品と、国際標準の IEEE 802.11a (W52/W53) 対応の製品は、使用している中心周波数およびチャンネルが異なるため、通信を行うことができません。

以下の、相互接続一覧表をご覧ください、通信可能な組み合わせで、ご使用ください。

アクセスポイント 無線 LAN カード	WR540APS (J52)	AT-TQ2403 (W52/W53) ※リリース予定
WR540CB (J52)	○ (J52)	×
WR540CB V2 (J52/ W52/W53)	○ (J52)	○ (W52/W53)

## 最新のドライバーについて

弊社は、改良（機構拡張、不具合修正など）のために、予告なく本製品のドライバーのバージョンアップを行うことがあります。最新のドライバーは、弊社ホームページから入手してください。

なお、最新のドライバーをご利用の際は、弊社ホームページにリリースノートが掲載されることもありますので、ご確認ください。

<http://www.allied-tesis.co.jp>

※ IEEE 802.11a は、電波法により屋外での使用が禁止されています。

※ IEEE 802.11a (J52) 準拠の通信と、IEEE 802.11a (W52) 準拠の通信を混在させると、通信性能が落ちる場合があります。

※ IEEE 802.11a (W53) では、気象レーダーなどとの混信を避けるため「DFS」という電波の制御機能を使用されます。

これにより、アクセスポイントのチャンネルが自動的に変更され、通信が途切れることがあります。

## マニュアルの構成

本製品のマニュアルは、次の2部で構成されています。

各マニュアルをよくお読みの上、本製品を正しくご使用ください。また、お読みになった後も、製品保証書とともに大切に保管してください。

### ○ リファレンスマニュアル（本書、CD-ROMに収録）

本製品の設定についての詳細が記載されています。

本書は、ユーティリティー・ディスクバージョン「Ver.2.0 pl0」をもとに記述されていますが、「Ver.2.0 pl0」よりも新しいユーティリティー・ディスクが同梱された製品に同梱されることがあります。本製品をご使用の際は、必ず弊社ホームページに掲載のリリースノートをお読みになり、最新の情報をご確認ください。リリースノートには、各バージョンごとの注意事項や最新情報が記載されています。





### ○ インストレーションガイド

本製品のユーティリティーおよびドライバーのインストール手順や取り付け方など、本製品を使い始めるにあたっての情報が記載されています。また無線のセキュリティに関する注意など、本製品をお使いいただく前に読んでいただきたい注意事項などが記載されています。

## 表記について

### アイコン

本書で使用しているアイコンには、次のような意味があります。

アイコン	意味	説明
 ヒント	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
 注意	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
 警告	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 参照	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

### 製品名の表記

「本製品」と表記されている場合は CentreCOM WR540CB V2 を意味します。

場合によっては「WR540CB V2」のように「CentreCOM」を省略して記載します。

# 目次

安全のために.....	4
はじめに .....	6
最新のドライバーについて .....	6
マニュアルの構成 .....	6
表記について .....	7
<b>1 本製品の設定の前に</b> .....	<b>11</b>
1.1 ネットワーク構成 .....	12
1.2 本製品の使い方 .....	13
1.3 無線 LAN アイコン .....	14
無線 LAN ユーティリティ .....	15
簡易モニタ .....	15
<b>2 本製品の設定</b> .....	<b>17</b>
2.1 無線 LAN ユーティリティの設定 .....	18
「無線 LAN ユーティリティ」を表示する .....	18
設定の手順 .....	19
2.2 無線設定の詳細 .....	22
認証設定 .....	24
2.3 接続状態表示 .....	26
2.4 オプション設定 .....	28
一般設定 .....	28
詳細設定 .....	29
2.5 バージョン情報 .....	31
2.6 ネットワークの設定 .....	32



### 3 取り外しとアンインストール 35

---

3.1 取り外し.....	36
3.2 アンインストール.....	37

### 4 付録 39

---

4.1 困ったときに.....	40
LED 表示を確認する.....	40
ドライバーが正しくインストールされていることを確認する.....	40
トラブル例.....	43
4.2 MAC アドレス.....	46
4.3 デフォルト設定.....	47
4.4 保証とユーザーサポート.....	49
保証、修理について.....	49
ユーザーサポート.....	49
サポートに必要な情報.....	50
ご注意.....	51
商標について.....	51
電波障害自主規制について.....	51
廃棄方法について.....	51
マニュアルバージョン.....	52



# 1

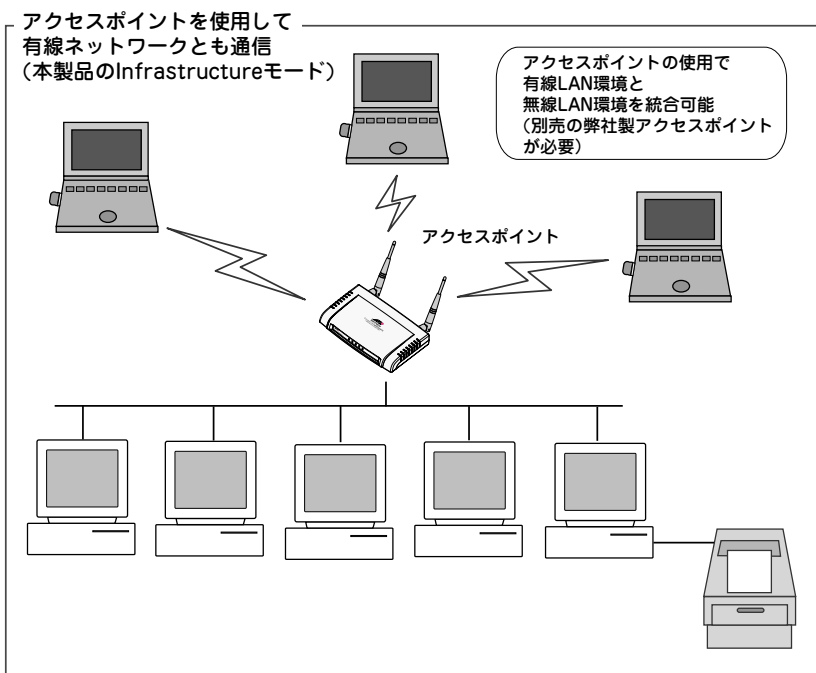
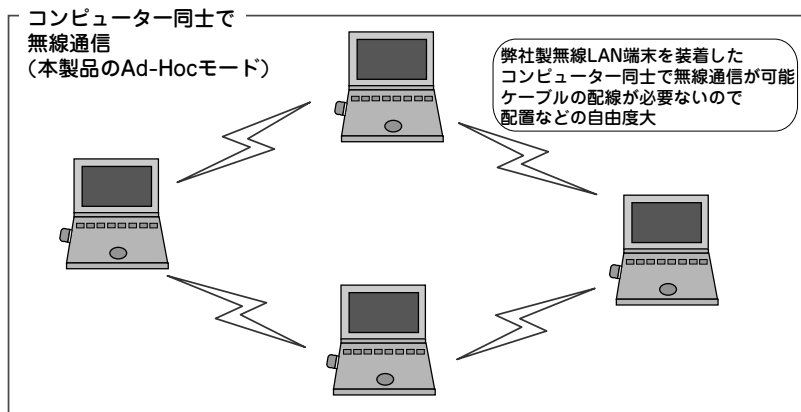
## 本製品の設定の前に

---

この章では、本製品の設定をする前に知っておいていただきたい情報について説明します。

# 1.1 ネットワーク構成

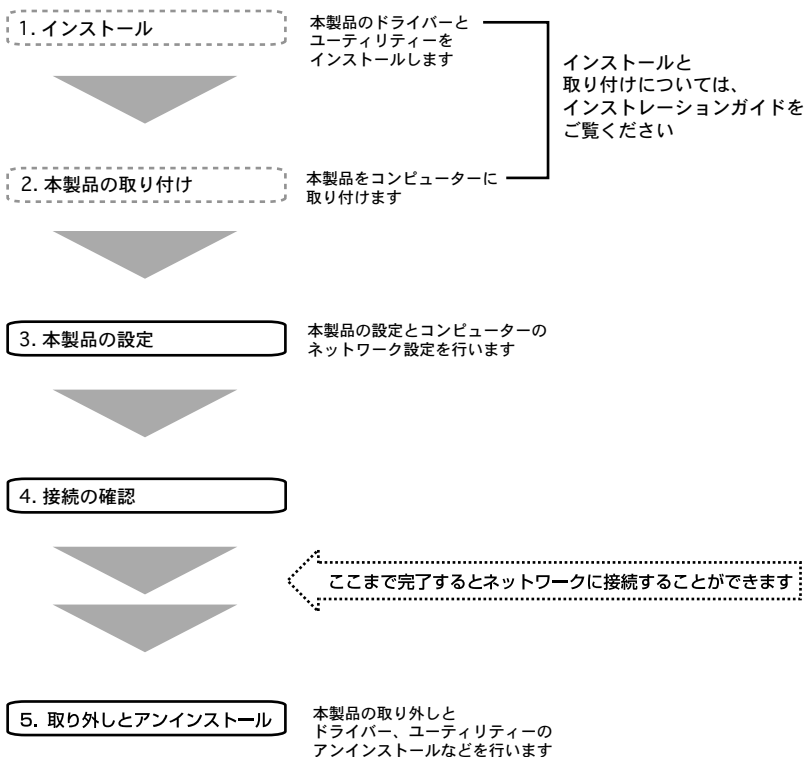
本製品は、次の2種類の構成で、無線LANネットワーク通信を行うことができます。



※弊社取り扱い製品同士の接続に関しては、弊社ホームページをご覧ください。

## 1.2 本製品の使い方

本製品を使うには、下記の手順に従って、ユーティリティやドライバーのインストール、設定などを行ってください。



# 1.3 無線 LAN アイコン

本製品のユーティリティ、ドライバーをインストールすると、タスクトレイに無線 LAN アイコンが表示されます。



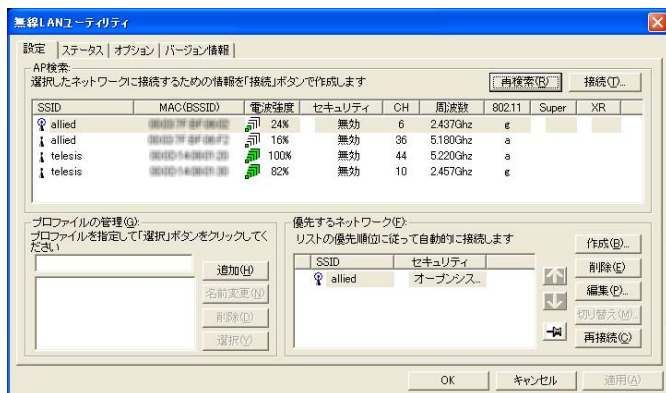
タスクバーに無線アイコンが表示されていない場合は、「スタート」→「すべてのプログラム」(「プログラム」)→「CentreCOM WR540 V2 Series」→「無線 LAN モニタ」を選択すると、アイコンが表示されます。

タスクバーに表示される無線アイコンは、接続先との通信状態により異なります。

通信状態が良好な場合	
通信状態が普通の場合	
未接続 (接続先検索中) の場合	
無線部 OFF の場合	
RADIUS サーバーでの認証待ちの場合	

## 無線 LAN ユーティリティ

無線アイコンをダブルクリックすると、「無線 LAN ユーティリティ」が表示されます。本製品の設定は、この「無線 LAN ユーティリティ」を使用して行います。



 18 ページ「2.1 無線 LAN ユーティリティの設定」

## 簡易モニタ

無線アイコンを右クリックし、メニューから「簡易モニタ」を選択すると、接続状態を簡単に表示するモニターが表示されます。



「簡易モニタ」には、下記の情報が文字とアイコンで表示されます。

### SSID

現在設定している SSID が表示されます。

### チャンネル

接続先の使用チャンネルが表示されます。

## 1.3 無線 LAN アイコン

### 送信速度

接続先の設定している送信速度が表示されます。

### 認証状態

設定した認証方式での接続状態が表示されます。「接続済」または「未接続」が表示されます。

### 接続状態（認証状態の下の一番左のアイコン）

「接続済」または「未接続」を示すアイコンが表示されます。

### 通信状態（認証状態の下の左から 2 番目のアイコン）

通信状態を示すアイコンが表示されます。次の 4 段階のアイコンで、電波強度を表示します。

Excellent	:	非常に強い
Very Good	:	強い
Good	:	普通
Low	:	弱い

### 暗号化（認証状態の下の一番右のアイコン）

暗号化の「有効」または「無効」を示すアイコンが表示されます。



# 2

## 本製品の設定

---

この章では、本製品の無線通信に関する設定やネットワークに関する設定について説明します。


## 2.1 無線 LAN ユーティリティの設定

本製品の設定は、「無線 LAN ユーティリティ」を使用して行います。

### 「無線 LAN ユーティリティ」を表示する

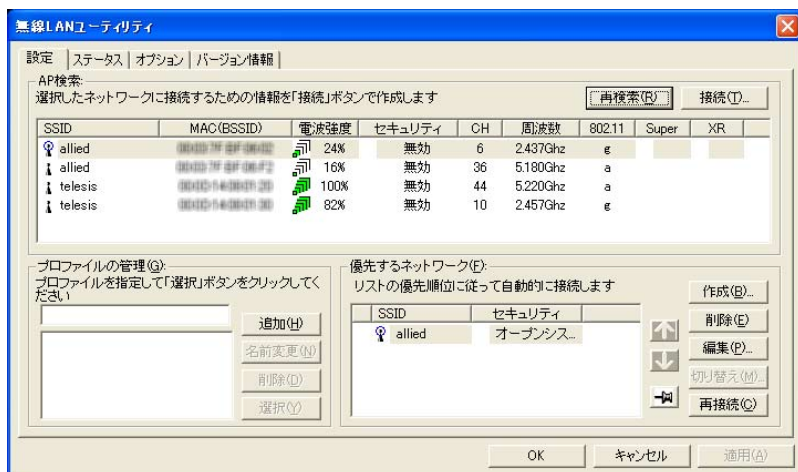
- 1 タスクバーに表示されている無線 LAN アイコンをダブルクリックします。

タスクバーに表示される無線 LAN アイコンは、接続状態や通信状態により異なります。

 参照 14 ページ「1.3 無線 LAN アイコン」

タスクバーに無線 LAN アイコンが表示されていない場合は、「スタート」→「すべてのプログラム」(「プログラム」)→「CentreCOM WR540 V2 Series」→「無線 LAN モニタ」を選択すると、アイコンが表示されます。

- 2 設定画面が表示されます。



## 設定の手順

無線通信に関する設定は、下記の手順で行います。

### AP 検索

「AP 検索」では、本製品で接続可能な無線 LAN アクセスポイントまたは、無線 LAN 端末を検索することができます。

- 1 設定画面の「AP 検索」には、本製品で接続可能な無線 LAN アクセスポイントまたは、無線 LAN 端末がリストに表示されます。接続可能なアクセスポイントなどが表示されない場合は、「再検索」ボタンをクリックします。



接続先の無線 LAN アクセスポイントなどに、SSID を隠す設定がされていると、リストには SSID が表示されません。ただし、本製品に同じ SSID が設定されていた場合は、リストにも SSID が表示されます。

リストに表示される項目は、次の通りです。

#### SSID

接続先の SSID が表示されます。

#### MAC (BSSID)

接続先の MAC アドレス (BSSID) が表示されます。

#### 電波強度

電波の強度が表示されます。電波強度はプローブ応答の信号強度に基づいた値を使用しています。

#### セキュリティ

暗号が設定されているかどうか、また設定されている認証方式が表示されます。

#### CH

接続先の使用チャンネルが表示されます。

#### 周波数

接続先の使用周波数が表示されます。

#### 802.11

接続先の 802.11 モードが表示されます。「a」「b」または「g」が表示されます。

## 2.1 無線 LAN ユーティリティの設定

### Super

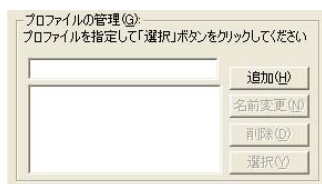
接続先の設定で、Super A/G モードが有効になっている場合に、マークが表示されます。

### XR

接続先の XR (eXtended Range) モードの設定が表示されます。

### プロファイルの追加

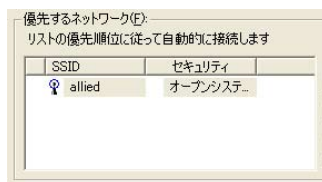
接続したい無線 LAN ネットワークの設定を、プロファイルとして保存しておくことができます。プロファイルを切り替えて使用することで、使用環境に合わせて、無線 LAN カードを使用することができます。



- 2 設定画面の「プロファイルの管理」でプロファイル名を入力し、「追加」ボタンをクリックします。


### 接続先の指定

接続したい無線 LAN ネットワークの設定を行います。接続先の設定に合わせて、セキュリティの設定などを行います。



インストール直後の状態では、「優先するネットワーク」のリストに、本製品のデフォルトの SSID 「allied」、認証方式「オープンシステム認証」、「暗号化無効」を設定した接続先が 1 つだけ表示されます。

- 3 「優先するネットワーク」のリストから接続先を選択し、「編集」ボタンをクリックします。「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されますので、接続先がセキュリティーを設定している場合は、接続先の設定と同じ設定を行います。

 22 ページ「2.2 無線設定の詳細」



インストール直後の状態では、「優先するネットワーク」のリストに表示されている接続先の情報で接続が行われる設定になっています。

- 4 複数のネットワークに接続したい場合は、AP 検索で表示された、接続可能な無線 LAN アクセスポイントなどのリストから接続先を選択し、「接続」ボタンをクリックして「ワイヤレスネットワークのプロパティ」を表示し、設定を行います。「優先するネットワーク」のリストに接続先が追加されます。
- 5 1つの接続先に固定して、接続を行いたい場合には、「優先するネットワークのリスト」から接続先を選択し、固定アイコン (🔒) をクリックして、「指定した接続情報で接続」の設定に切り替えます。選択した接続先の前にマーク (📌) がつきます。

「優先するネットワークのリスト」の優先順位（上から下の順）に従って、リストにある接続先に順に接続していきたい場合は、固定アイコンをクリックして、「リストの優先順位に従って自動的に接続」の設定に切り替えます。



リストの優先順位に従って接続する場合は、先に、802.11a モードの接続先を上から順に接続していきます。次に、802.11b モードの接続先を上から順に接続していきます。

- 6 設定画面の「適用」ボタンをクリックすると、指定した接続情報で接続を行います。
- 7 設定画面の「OK」ボタンをクリックすると、現在の設定をプロファイルに保存し、指定した接続情報で接続を行い、「無線 LAN ユーティリティ」を閉じます。

## プロファイルの切り替え

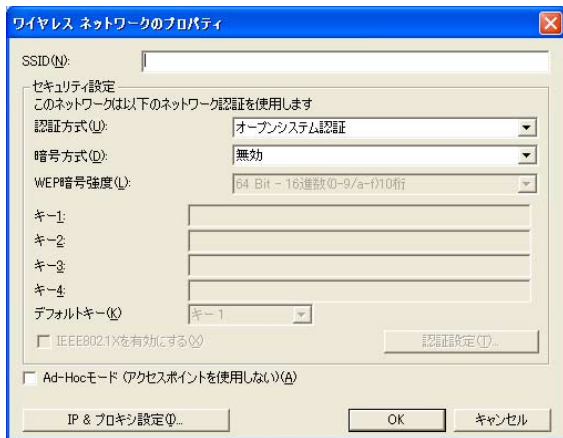
- 8 複数のプロファイルを作成したい場合は、「プロファイルの管理」の追加ボタンをクリックし、これまでの手順を繰り返します。
- 9 プロファイルを切り替える場合は、「プロファイル管理」のリストから使用したいプロファイルをクリックし、「選択」ボタンをクリックします。また、「優先するネットワークのリスト」の横の「切り替え」ボタンでも切り替えることができます。



プロファイルは、タスクトレイに表示されている無線 LAN アイコンを右クリックして表示されるメニューからも切り替えることができます。

## 2.2 無線設定の詳細

接続したい無線 LAN ネットワークの詳細設定を、「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」ダイアログボックスで行います。接続先の設定に合わせて、セキュリティーの設定などを行います。



「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」で設定するのは、下記の項目です。

### SSID

接続先と同じ SSID を入力します。

SSID に入力できるのは、半角英数字と半角記号で、文字数は 32 文字までです（大文字・小文字も区別されます）。

### 認証方式

暗号化の認証方式を選択します。

接続先の認証方式と合わせてください。デフォルトは、「オープンシステム認証」です。

オープンシステム認証：接続先が同じ暗号キーを持っているかどうかを確認せずに認証します。

共有キー認証：接続先が同じ暗号キーを持っているかどうかを確認してから認証します。

WPA-PSK/WPA2-PSK：接続先が同じ暗号キーを持っているかどうかを確認してから認証します。暗号方式を選択する事ができます。

WPA/WPA2：RADIUS サーバーで認証を行います。

### 暗号方式

認証方式に「オープンシステム認証」を選択した場合に、暗号の有効/無効を選択します。「無効」（暗号無効）または「WEP」（暗号有効）のどちらかを選択します。デフォルトは「無効」です。

認証方式に「WPA」「WPA2」「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選択した場合に、「TKIP」または「AES」のどちらかを選択します。

- AES : 米国商務省の承認した標準技術を用いた暗号化を行います。
- TKIP : 一定時間毎に暗号キーを変更します。

### WEP 暗号強度

認証方式に「オープンシステム認証」または「共有キー認証」を選択した場合に、暗号キーの入力方式（16進数 / 半角英数字）と暗号強度（64/128/152 Bit）を選択します。「64 Bit - 16進数(0-9/a-f)10桁」「128 Bit - 16進数(0-9/a-f)26桁」「152 Bit - 16進数(0-9/a-f)32桁」「64 Bit - 半角英数字5文字」「128 Bit - 半角英数字13文字」「152 Bit - 半角英数字16文字」の中から選択します。

### キー 1/2/3/4

認証方式に「オープンシステム認証」または「共有キー認証」を選択した場合に、暗号キーを入力します。WEP 暗号強度で選択した入力形式で、選択した文字数までの暗号キーを入力します。WEP キーは、大文字、小文字を区別します。

### デフォルトキー

認証方式に「オープンシステム認証」または「共有キー認証」を選択した場合に、キー 1/2/3/4の中から、デフォルトキーとして使用するキーを設定します。「キー 1」「キー 2」「キー 3」「キー 4」の中から選択します。

### IEEE802.1X を有効にする


認証方式に「オープンシステム認証」を選択した場合に、IEEE 802.1X を有効にする場合は、チェックを付けます。

### Ad-Hoc モード（アクセスポイントを使用しない）

Ad-Hoc モード（無線 LAN 端末同士で通信）で通信したい場合に、チェックをつけます。デフォルトは、チェックなしです。


### 認証方式

認証方式に「WPA」「WPA2」「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選択した場合に、認証に関する設定を行います。詳細は、「認証設定」を参照してください。

 24 ページ「認証設定」

### IP & プロキシ設定

無線 LAN ネットワーク接続に使用する、IP アドレスおよびプロキシの設定を行います。

 32 ページ「ネットワークの設定」

## 2.2 無線設定の詳細

### 認証設定

認証方式に「WPA」「WPA2」「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選択した場合、または、「IEEE802.1Xを有効にする」にチェックを付けた場合は、「認証設定」ボタンをクリックし、「認証設定」ダイアログボックスを表示して、認証に関する設定を行います。

The screenshot shows the '認証設定' (Authentication Settings) dialog box. It is divided into several sections: 'WPA-PSK' with a 'PSK(P)' text box; 'IEEE802.1X認証' with a dropdown menu for '使用する認証方式(E)' set to 'EAP-TLS'; '証明書' with a 'ユーザ証明(S)' dropdown and a checkbox for 'サーバの証明書の有効化(O)'; 'ユーザ情報' with fields for 'ユーザ名(U)', 'パスワード(P)', and 'パスワードの確認(P)'; 'TTLS認証' with a 'TTLS認証(T)' text box; and '信頼されたルート証明機関(CA)' with a list area and '追加(A)' and '削除(D)' buttons. 'OK' and 'キャンセル' buttons are at the bottom.

#### WPA-PSK/WPA2-PSK

認証方式に「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選択した場合に、PSK に暗号キーを入力します。

8～63文字の半角英数字を入力します。



ヒント

セキュリティ確保のため、21文字以上の暗号キーを設定することをお勧めします。

#### IEEE802.1X 認証

使用する認証方式を選択します。「EAP-TLS」「LEAP」「EAP-TTLS」「PEAP」の中から選択します。「EAP-TTLS」「PEAP」を選択した場合は、すぐ右のメニューから、より細かい認証方式を選択します。デフォルトは、「EAP-TLS」です。



### 「証明書」

使用する認証方式に「EAP-TLS」を選択した場合は、「ユーザ証明」でユーザー証明を選択します。サーバの証明書を使用する場合は、「サーバの証明書の有効化」にチェックを付けます。

使用する認証方式に「EAP-TTLS」または「PEAP」を選択し、サーバの証明書を使用する場合は、「サーバの証明書の有効化」にチェックを付けます。

### 「ユーザ情報」

使用する認証方式に「EAP-TLS」を選択した場合は、「ユーザ名」のみ入力します。

使用する認証方式に「LEAP」「EAP-TTLS」または「PEAP」を選択した場合は、「ユーザ名」「パスワード」「パスワードの確認」を入力します。

### 「TTLS 認証」

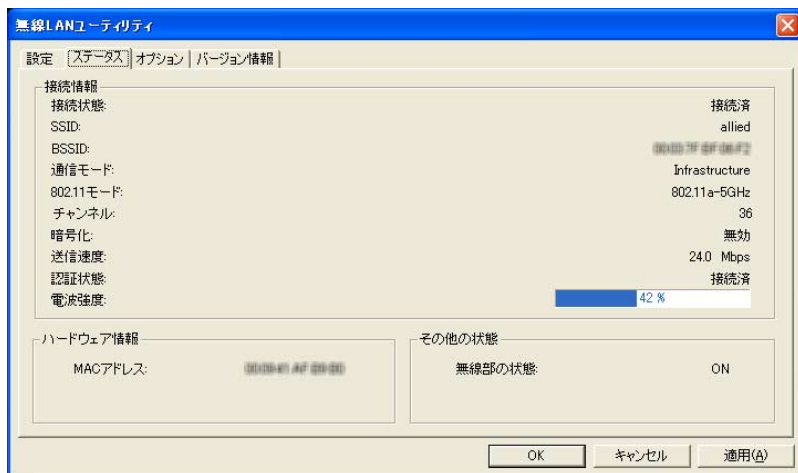
使用する認証方式に「EAP-TTLS」を選択した場合に、「TTLS」認証を入力します。

### 「信頼されたルート証明機関 (CA)」

証明書の認証機関を登録します。「追加」ボタンをクリックし、認証サーバーを入力します。

## 2.3 接続状態表示

「無線 LAN ユーティリティ」の「ステータス」タブでは、現在接続されている無線 LAN ネットワークの情報などが表示されます。



表示されるのは、次の項目です。

### 接続状態

「接続済」または「未接続」が表示されます。

### SSID

現在設定されている SSID が表示されます。

### BSSID

接続先の BSSID (MAC アドレス) が表示されます。

### 通信モード

現在設定している通信モードを表示します。「Infrastructure」または「Ad-Hoc」が表示されます。

### 802.11 モード

現在接続している 802.11 モードを表示します。「802.11a-5GHz」「802.11b-2.4GHz」または「802.11g-2.4GHz」が表示されます。

### チャンネル

接続先の使用チャンネルが表示されます。

### **暗号化**

暗号化の有効 / 無効が表示されます。「有効」または「無効」が表示されます。

### **送信速度**

接続先の設定している送信速度が表示されます。

### **認証状態**

設定した認証方式での接続状態を表示されます。「接続済」または「未接続」が表示されます。

### **電波強度**

電波の強度を % で表示します。電波強度はプローブ応答の信号強度に基づいた値を使用しています。

### **ハードウェア情報**

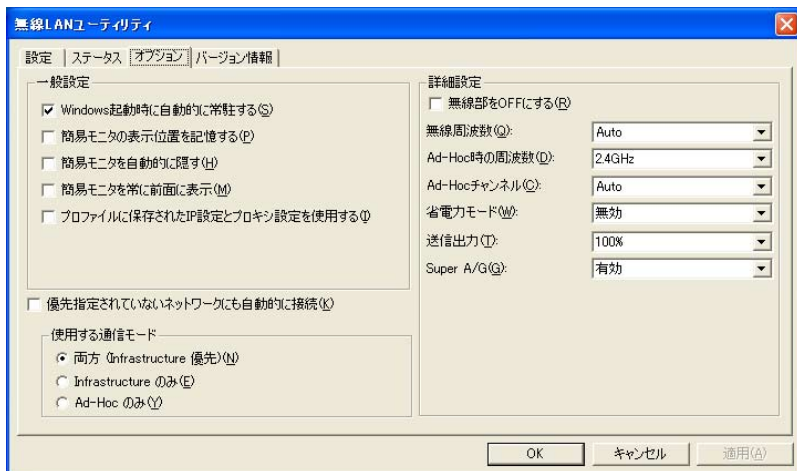
本製品の MAC アドレスが表示されます。

### **無線部の状態**

無線部の状態を表示します。「ON」または「OFF」が表示されます。

## 2.4 オプション設定

「無線 LAN ユーティリティ」の「オプション」タブでは、本製品に関する設定を行います。



設定できるのは、次の項目です。

### 一般設定

「一般設定」では、タスクバーの無線 LAN アイコンを右クリックしたときに表示される、「簡易モニタ」の設定を行います。

#### Windows 起動時に自動的に常駐する

この項目にチェックを付けると、Windows 起動時に、無線 LAN アイコンがタスクトレイに自動的に表示されます。デフォルトは、チェックありです。

#### 簡易モニタの表示位置を記憶する

この項目にチェックを付けると、簡易モニタの表示位置が記憶され、次に簡易モニタを表示するときに、同じ位置に表示されます。デフォルトは、チェックなしです。

#### 簡易モニタを自動的に隠す

この項目にチェックを付けると、マウスポインタが簡易モニタから離れたとき、簡易モニタが画面の右端に隠れます。デフォルトは、チェックなしです。

### 簡易モニタを常に前面に表示

この項目にチェックを付けると、簡易モニタは、常に他のウィンドウの一番上に表示されます。デフォルトは、チェックなしです。

### プロファイルに保存された IP 設定とプロキシ設定を使用する

この項目にチェックを付けると、選択した無線 LAN ネットワークに接続する場合に、「ワイヤレスネットワークのプロパティ」ダイアログボックスの「IP & プロキシ設定」で設定し、プロファイルに保存した設定が使用されます。デフォルトは、チェックなしです。

### 優先設定されていないネットワークにも自動的に接続

この項目にチェックを付けると、「設定」タブの「優先するネットワーク」に登録されていない接続先でも、接続可能な無線 LAN アクセスポイントなどがあれば、それに接続します。デフォルトは、チェックなしです。

### 使用する通信モード

使用する通信モードでは、本製品が無線通信を行う場合の通信モードを設定します。下記の 3 項目から選択します。デフォルトは、「両方 (Infrastructure 優先)」です。

- 両方 (Infrastructure 優先) : Infrastructure モード、Ad-Hoc モードのどちらでも通信が可能です。Infrastructure モードが優先されます
- Infrastructure のみ : Infrastructure モードでのみ通信を行います。
- Ad-Hoc のみ : Ad-Hoc モードでのみ通信を行います。

---

## 詳細設定

「詳細設定」では、本製品に関する詳細設定を行います。

### 無線部を OFF にする

この項目にチェックを付けると、本製品からの電波の送受信が停止されます。デフォルトは、チェックなしです。

### 無線周波数

本製品が通信可能な、無線周波数を選択します。デフォルトは、「Auto」です。

- 802.11b-2.4GHz : 802.11b モード、2.4GHz 帯での通信が可能です。
- 802.11b/g-2.4GHz : 802.11b/g モード、2.4GHz 帯での通信が可能です。
- 802.11a-5GHz : 802.11a モード、5GHz 帯での通信が可能です。
- Auto : 接続先のモード、周波数に合わせて通信を行います。



無線周波数の設定を「Auto」以外に設定し、「設定」タブで「再検索」を実行すると、設定した周波数を使用する無線 LAN アクセスポイントなどが、リスト上に表示されます。

## 2.4 オプション設定

### Ad-Hoc 時の周波数

Ad-Hoc モードで通信を行う場合の周波数を選択します。「2.4GHz」または「5GHz」を選択します。デフォルトは「2.4GHz」です。



「Ad-Hoc 時の周波数」で「2.4GHz」を選択すると、802.11b モードで接続されます。

### Ad-Hoc チャンネル

Ad-Hoc モードで通信を行う場合のチャンネルを選択します。「Ad-Hoc 時の周波数」で、「2.4GHz」を選択した場合に設定が可能です。「Auto」または「チャンネル 1 ~ 14」を選択します。デフォルトは「Auto」です。



「Ad-Hoc 時の周波数」で「5GHz」を選択すると、通信を行うチャンネルは自動的に選択されます。802.11a の W53 では、Ad-Hoc モードで通信を行うことができません。また本製品は、802.11a の J52 と W52 を両方使用可能なパッシブスキャン方式のため、W52 (36、40、44、48 チャンネル) でのみ、Ad-Hoc モードの通信を行います。

### 省電力モード

消費電力を抑える、省電力モードを設定します。「無効」「最大」「速度優先」から選択します。デフォルトは「無効」です。

### 送信出力

本製品の電波の送信出力を選択します。「100%」「50%」「25%」「12.5%」または「最小」から選択します。デフォルトは「100%」です。

### Super A/G

「Super A/G」モードを搭載した無線機器と通信する場合、パースト転送およびデータ圧縮の有効 / 無効を選択します。デフォルトは「有効」です。

## 2.5 バージョン情報

ユーティリティおよびドライバーのバージョンを表示します。



## 2.6 ネットワークの設定

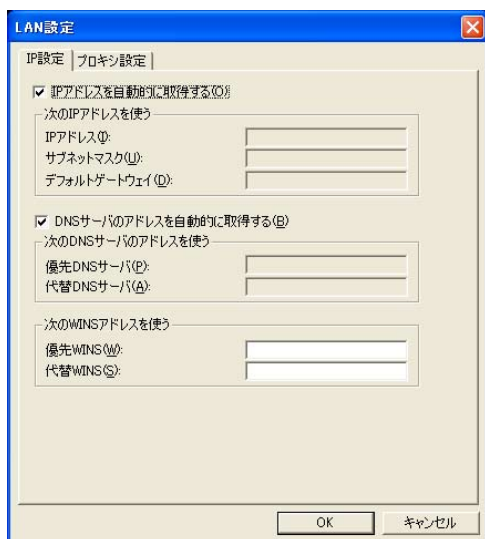
「無線 LAN ユーティリティ」を使用して本製品の設定を行ったら、コンピューターのネットワーク設定を行ないます。ここで行う設定では、本製品の IP アドレスや使用するプロキシサーバーなどを、接続先ごとに設定することができます。



ここでは TCP/IP の設定について説明しますが、その他ファイル共有などに必要な設定については、OS の取扱説明書を参照して設定してください。

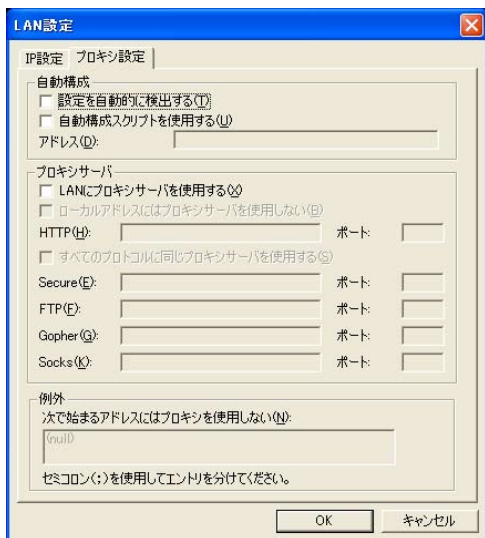
「無線 LAN ユーティリティ」からネットワーク設定を行います。

- 1 「無線 LAN ユーティリティ」の「優先するネットワーク」のリストから接続先を選択し、「編集」ボタンをクリックして、「ワイヤレスネットワークのプロパティ」を表示します。「IP & プロキシ設定」ボタンをクリックします。
- 2 「IP 設定」タブで IP アドレスなどの設定を行います。





- 3 「プロキシ設定」タブでプロキシに関する設定を行います。



- 4 「OK」ボタンをクリックします。
- 5 「オプション」タブで、「一般設定」の「プロファイルに保存されたIP設定とプロキシ設定を使用する」にチェックを付けます。「OK」または「適用」ボタンをクリックして、設定を反映します。



「プロファイルに保存されたIP設定とプロキシ設定を使用する」にチェックが付いていないと、IPアドレスなどの設定が有効になりません。



# 3

## 取り外しとアンインストール

---

この章では、本製品の取り外しやアンインストールの手順について説明します。

## 3.1 取り外し



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブなど）に触れて体内の静電気を放電してください。このとき、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

コンピューターの電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピューターの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。


ここでは、Windows XP の手順を例に説明します。



以下の手順を守らなかった場合、コンピューターのハングアップや、Windows ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- 1 ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Internet Explorer、Netscape Navigator、Telnet やデータベースアプリケーションなどをすべて終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、すべて切断してください。
- 2 タスクトレイの PC カードアイコンをクリックします。
- 3 「Allied Telesis WR540CB LAN Card V2 を安全に取り外します」が表示されたらクリックします。
- 4 コンピューターの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品を安全に取り外すことができます。

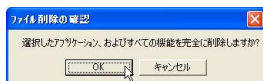
## 3.2 アンインストール

 **ヒント** Windows 2000 をご使用の場合は「Administrator」所属のユーザー名、Windows XP をご使用の場合は「コンピュータの管理者」となっているユーザー名でログオンしてください。

アンインストールを実行すると、本製品のドライバーとユーティリティーがコンピューターから削除されますので、ご注意ください。また、アンインストールを実行する際は必ず下記の手順に従って、行ってください。

ここでは、Windows XP の手順を例に説明します。

- 1 「取り外し」の手順を実行します。
- 2 「スタート」→「すべてのプログラム(プログラム)」→「CentreCOM WR540 V2 Series」→「無線 LAN モニタの削除」を選択します。
- 3 「ファイル削除の確認」が表示されたら「OK」ボタンをクリックします。



- 4 「メンテナンスの完了」が表示されたら「完了」ボタンをクリックします。





# 4

## 付録

---

この章では、トラブル解決、デフォルト設定、保証とユーザーサポートについて説明しています。

## 4.1 困ったときに

本製品の使用中になんらかのトラブルが発生したときの解決方法を紹介します。

---

### LED 表示を確認する

LEDの状態を観察してください。LEDの状態は問題解決に役立ちますので、お問い合わせの前にどのように表示されるかを確認してください。

 **参照** インストレーションガイド「9 各部の名称と機能」

#### LED が消灯している

本製品を、コンピューターの PC カードスロットに正しく取り付けていますか  
LED が消灯している場合は、インストレーションガイドの「13 本製品の取り付け」を参照し、本製品をコンピューターに正しく取り付けてください。  
本製品がコンピューターに正しく取り付けられていないと、コンピューターに認識されず、本製品のドライバーが自動的にインストールされない、PC カードが検出されないなどの現象が発生します。

コンピューターの PC カードスロットが故障していませんか  
PC カードスロットを複数装備しているコンピューターをご使用の場合は、違うスロットに取り付けて、本製品がコンピューターに認識されることを確認してください。別のコンピューターがある場合は、別のコンピューターの PC カードスロットに本製品を取り付けて、コンピューターに認識されることを確認してください。

---

### ドライバーが正しくインストールされていることを確認する

本製品のドライバーが正しくインストールされていることを確認します。ドライバーの確認は、下記の手順で行います。

- 1 「コントロールパネル」内の「システム」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「ハードウェア」タブを表示して、「デバイスマネージャ」をクリックしてください。正常にインストールされていると「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis WR540CB LAN Card V2」と表示されます。
- 3 「Allied Telesis WR540CB LAN Card V2」をダブルクリックします。「全般」タブで「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



## 「デバイスマネージャ」に本製品が正しく表示されない

「デバイスマネージャ」で、「Allied Telesis WR540CB LAN Card V2」のアイコンが以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しているために、次のような現象が発生します。

- 「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった
- デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く
- 「Allied Telesis WR540CB LAN Card V2」アイコンが2つ以上ある

このような場合は、本製品のユーティリティとドライバーをいったんアンインストールし、新たにインストールしなおします。以下の手順を実行してください。

- 1 「3.2 アンインストール」(p.37)の手順に従って本製品のユーティリティとドライバーをアンインストールします。
- 2 インストレーションガイドの「12 ユーティリティのインストール」および「13 本製品の取り付け」の手順に従って、ドライバーをインストールしなおしてください。

## 「デバイスマネージャ」で「×」がつく

「デバイスマネージャ」で、「Allied Telesis WR540CB LAN Card V2」のアイコンに「×」がついている場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。

このような場合は、下記の手順に従って、「Allied Telesis WR540CB LAN Card V2」を「使用可」の状態に切り替えます。

- 1 「3.2 アンインストール」(p.37)の手順に従って本製品のユーティリティとドライバーをアンインストールします。
- 2 インストレーションガイドの「12 ユーティリティのインストール」および「13 本製品の取り付け」の手順に従って、ドライバーをインストールしなおしてください。

## 4.1 困ったときに

### PCMCIA コントローラーが正しく表示されない

「デバイスマネージャ」で、「PCMCIA ソケット」の下に表示される PCMCIA コントローラーのアイコンに「!」「?」のマークが付いている場合は、PCMCIA コントローラーが正しくインストールされていません。本製品のドライバーは、PCMCIA コントローラーと協調して動作します。そのため、PCMCIA コントローラーが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。



注意

ご使用のコンピューターの PCMCIA コントローラー専用ドライバーが、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコンピューターのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されている手順で PCMCIA コントローラーの再インストール行ってください。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、どのようなドライバーが使用されているのかを調べてください。



注意

CardBus 対応のコンピューター機種には、使用する PC カードに応じて 2 種類 (16bit/32bit) の PCMCIA コントローラーを切り替えなければならないものがありますのでご注意ください。詳細は、ご使用のコンピューターのマニュアルもしくは、コンピューターのメーカーにご確認ください。

次の手順を実行し、PCMCIA コントローラー用ドライバーをインストールしなします。

- 1 「デバイスマネージャ」を表示します。
- 2 「PCMCIA ソケット (アダプタ)」の下にある PCMCIA コントローラーを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。
- 3 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。
- 4 「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット (アダプタ)」のアイコンが消えていることを確認します。
- 5 Windows を終了し、コンピューターの電源をオフにした後、本製品を PC カードスロットから取り外します。
- 6 再びコンピューターの電源をオンにします。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PC カード (PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。



ヒント

Plug & Play 機能により、ドライバーを自動的に読み込んでしまうコンピューター機種もあります。

- 7 「ハードウェアの追加」アイコン（コントロールパネル）をダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、「次へ」ボタンをクリックしてください（「ハードウェアの追加ウィザード」の実行には数分の時間がかかります）。
- 8 「はい（通常はこちらを選んでください）」を選択し、続く 2 つの質問に対して「次へ」ボタンをクリックして進みます。最後に「完了」ボタンをクリックしてハードウェアの追加ウィザードを終了してください。
- 9 続いて、自動的に「PC カード（PCMCIA）ウィザード」が起動します。表示されるメッセージに従って操作してください。


---

## トラブル例

### 本製品と無線 LAN 端末間で通信ができない


設定が「Ad-Hoc モード」になっていますか？

本製品と無線 LAN 端末間で通信を行うには、「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」で「Ad-Hoc モード（アクセスポイントを使用しない）」にチェックを付けます。

 22 ページ「2.2 無線設定の詳細」


セキュリティ設定は合っていますか？

本製品と無線 LAN 端末のセキュリティ設定は、同じ設定にします。

 22 ページ「2.2 無線設定の詳細」

SSID の設定は合っていますか？

本製品と無線 LAN 端末の「SSID」は、同じ文字列にします。


 22 ページ「2.2 無線設定の詳細」


## 4.1 困ったときに


### 本製品と無線 LAN アクセスポイント間で通信ができない


無線 LAN 無線 LAN アクセスポイントの電源は入っていますか？  
無線 LAN アクセスポイントの電源をオンにしてください。


無線 LAN アクセスポイントが、見通せる位置に設置されていますか？  
本製品を取り付けたコンピューターと無線 LAN アクセスポイントの距離を近づけたり、障害物をなくして見通しを良くしてください。

「SSID」の設定は合っていますか？  
本製品と無線 LAN アクセスポイントの「SSID」には、同じ文字列を設定します。  
 22 ページ「2.2 無線設定の詳細」

設定が「Ad-Hoc モード」になっていませんか？  
無線 LAN アクセスポイントを使用して通信を行うには、「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」で「Ad-Hoc モード（アクセスポイントを使用しない）」にチェックを付けないでください。  
 22 ページ「2.2 無線設定の詳細」

「暗号」設定は合っていますか？  
本製品を取り付けたコンピューターと無線 LAN アクセスポイントのセキュリティー設定は、同じ設定にします。  
 22 ページ「2.2 無線設定の詳細」

 無線 LAN アクセスポイントの設定方法につきましては、無線 LAN アクセスポイント付属のユーザーマニュアルをご覧ください。

 IEEE 802.11a (W53) では、気象レーダーなどとの混信を避けるため、「DFS」という電波の制御機能が使用されています。この機能により、アクセスポイントのチャンネルが自動的に更新されるので、ローミングやアクセスポイントの再起動を行わなくても、特定のアクセスポイントの配下の無線 LAN 端末の通信が一斉に途切れることがあります。

## 無線 LAN 端末または無線 LAN アクセスポイントと通信ができない

### ネットワークの設定は正しいですか

TCP/IP プロトコルを使用して通信している場合には、正しく設定を行ってください。

 32 ページ「2.6 ネットワークの設定」

### 電波状態は適切ですか

無線 LAN 端末または無線 LAN アクセスポイントとの距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしてから、再度通信してください。

### 無線を使用した家電を使用していませんか

2.4GHz の無線を使用した家電は無線 LAN の周波数に近いので、無線 LAN 利用時には無線を利用した家電のご使用をお控えください。

### 使用環境に問題はありますか

通信を行う環境に、下記の例のような電波を通さない材質の障害物などがあると電波の通信状態が悪くなりますので、その場合は使用環境を変更する、障害物を取り除くなどの対策をしてください。

電波を通さない障害物の例：

レンガ、コンクリートの壁、石の壁、鉄の仕切りやドア、鉄筋コンクリート造りの家の 1 階と 2 階

## 4.2 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MAC アドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MAC アドレスは機器（アダプター）の 1 つひとつに割り当てられた唯一無二の（unique、ユニークな）アドレスです。

MAC アドレスは、下記の 6 バイト（48 ビット）によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品の MAC アドレスは、製品に貼付されている MAC アドレスラベルに記入されています（表記は全て 16 進数）。

00	09	41	EA	A0	xx
ベンダー ID			通し番号		

- ・ **ベンダー ID**  
LAN ベンダー（LAN 用機器を製造しているメーカー）が IEEE に申請することにより得られる識別番号です。割り当て
- ・ **通し番号**  
この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、本製品は「EA A0 00」から始まる 6 桁の数値となっています。この通し番号と本製品の「シリアル番号シール」の番号に関連はありません。



ヒント

MAC アドレス（マックアドレスと読みます）は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。また、MAC アドレスは、TCP/IP の環境で使用される IP アドレスに関係がありますが、これらは別々のものです。

## 4.3 デフォルト設定

本製品の無線 LAN ユーティリティの工場出荷時設定は以下の通りです。

優先するネットワーク	
SSID	allied
認証方式	オープンシステム認証
暗号方式	無効
指定した接続情報で接続 / リストの優先順位に従って自動的に接続	リストの優先順位に従って自動的に接続
ワイヤレスネットワークのプロパティ (新規作成時)	
セキュリティ設定	
認証方式	オープンシステム認証
暗号方式	無効 (WPA/WPA2 選択時: TKIP)
WEP 暗号強度 (WEP 選択時)	64 Bit - 16 進数 (0/9/a-f) 10 桁
デフォルトキー (WEP 選択時)	キー 1
IEEE802.1X を有効にする (WEP 選択時)	チェックなし
Ad-Hoc モード (アクセスポイントを使用しない)	チェックなし
IP & プロキシ設定	
IP 設定	
IP アドレスを自動的に取得する	チェックあり
DNS サーバのアドレスを自動的に取得する	チェックあり
プロキシ設定	
設定を自動的に検出する	チェックなし
自動構成スクリプトを使用する	チェックなし
LAN にプロキシサーバを使用する	チェックなし
認証設定	
IEEE802.1X	
使用する認証方式	EAP-TLS (WPA/WPA2 選択時) (EAP-TTLS 選択時: PAP PEAP 選択時: EAP-MD5)
オプション	
一般設定	
Windows 起動時に自動的に常駐する	チェックあり
簡易モニタの表示位置を記憶する	チェックなし
簡易モニタを自動的に隠す	チェックなし
簡易モニタを常に前面に表示	チェックなし
プロファイルに保存された IP 設定とプロキシ設定を使用する	チェックなし
優先指定されていないネットワークにも自動的に接続	チェックなし

使用する通信モード	
	両方 (Infrastructure 優先)
デバイス情報	
無線部を OFF にする	チェックなし
無線周波数	Auto
Ad-Hoc 時の周波数	2.4GHz
Ad-Hoc チャンネル	Auto
省電力モード	無効
送信出力	100%
Super A/G	有効




## 4.4 保証とユーザーサポート

---

### 保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

#### アライドテレスिस株式会社 修理受付窓口

 0120-860332

携帯電話 / PHS からは： 045-476-6218

月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00

13:00～17:00

### 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）につきましては、弊社はその責を一切負わないこととします。


### ユーザーサポート

---

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

#### アライドテレスिस株式会社 サポートセンター

<http://www.allied-telesis.co.jp/support/info/>

 0120-860772

携帯電話 / PHS からは： 045-476-6203

月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00

13:00～18:00

## 4.4 保証とユーザーサポート

### サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合によりご連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

#### 一般事項

すでに「サポート ID 番号」を取得している場合、サポート ID 番号をお知らせください。サポート ID 番号をご記入いただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただいてもかまいません。

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

#### 製品について

- 製品名、製品のシリアル番号 (S/N)、製品リビジョンコード (Rev) などのハードウェア情報をお知らせください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例)



- ドライバーおよびユーティリティのバージョンをお知らせください。ドライバーおよびユーティリティのバージョンは、「無線 LAN ユーティリティ」の「バージョン」タブで確認できます。

#### LED について

- LED の点灯状態についてお知らせください。

#### お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）お知らせください。

## ネットワーク構成について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をあわせてお送りください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

---

## ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。

弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2006 アライドテレシスホールディングス株式会社

---

## 商標について

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載されているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

---

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

---

## 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただけますようお願いいたします。

## 4.4 保証とユーザーサポート

---

### マニュアルバージョン

2006年 11月 Rev.A 初版



